

## 第11回研修会開催報告

KSCD事務局

### 第11回研修会の開催

京滋コンクリート診断士会では、第11回研修会を以下のとおり開催しました。当日は40名近いご出席を頂き、盛況裏に終了できました。ご出席頂きました皆さまのご支援とご協力に感謝いたします。

1. 日 時 : 平成25年8月28日(水) 午後1時30分～5時00分
2. 会 場 : 京都テルサ 東館2階 中会議室
3. 講師・演題 : ● 田中 仁史 先生  
京都大学防災研究所 教授 工学博士  
「超高層建築物の構造設計におけるロバストネスとリダンダンシー(150～200N/mm<sup>2</sup>クラスの超高強度コンクリートの活用)」  
● 尼崎 省二 先生  
立命館大学名誉教授 理工学部特別任用教授 工学博士  
「コンクリート構造物の維持管理」

### 研修会の模様



▲参加者の方々 聴講の様子



▲田中先生の講演



▲尼崎先生の講演

- 田中先生のご講演では Robustness(強靱性)と Redundancy(冗長性)について今年からデパート部分の営業が開始された—阿倍野ハルカス(S+RC+SRC 造高さ 300m)—を事例に判りやすく説明して頂きました。高強度コンクリートでは脆性圧縮破壊の防止対策が必要であること、爆裂(火災時)の問題があることなど、通常のコンクリートとは異なる課題があることを学びました。
- 尼崎先生のご講演ではコンクリート構造物の維持管理に関する基本的な考え方と、構造物調査における非破壊検査の留意点を学びました。特にリバウンドハンマーを用いる反発度法に関して、我が国で慣用的に行われている強度推定が、例えば ASTM など諸外国の規定では強度決定の代替法として用いられてない点など、興味深いお話を伺いました。

